

実践事例発表レジュメ

研修・研究事業名	地域課題解決に向けた公民館活動
実践事例名（テーマ）	社会教育による持続可能なまちづくり
事業主体（実施機関）	鯖江市北中山公民館
連携・協力機関等	北中山まちづくり委員会
発表者	北中山公民館 前館長 森本 茂

期日 30年 6月 6日

内 容

北中山地区は鯖江市内10地区のうち、2番目に人口が少なくH30.5.1現在820世帯、2,870人を有している。

北中山地区まちづくり委員会の事務局を担っている公民館として、各団体ごとに行われている地域住民の活動を単体の事業として終わらせず、他の団体との融合により相乗効果が期待できる場合には、公民館がコーディネート役を担い、各団体間の融合を図り団体活動を活性化させ、さらには地区全体のまちづくり活動につなげようとしている。

北中山まちづくり委員会は平成9年に発足し、当初は地区単位のイベント「北中山夢まつり」を開催するための集まりだった。平成23年には、地区をさらにより良くする取組みを進めようと活動範囲を拡大し、公募で集まった住民約20人が1年かけ地域課題を洗い出し、地域課題解決に向けたまちづくり計画を策定した。その際、市役所に頼らず、自分たちでできることを中心に案を出し合い、17分野の事業を3部会に分け活力に満ちたまちづくりの推進に取り組んだ。

「美しいまちづくり」「安全安心のまちづくり」「健康福祉のまちづくり」「歴史文化のまちづくり」の4本の柱の下、地区内の老若男女が参加できる事業が展開されている。特に小学生に伝承料理とテーブルマナーを指導する愛育会などの地域女性とのつながりをはじめ、地域資源を生かした地区の民謡、パンフレットを作成するなど小学生が地域を愛するふるさと教育が根付いており、人口減少社会を迎えているなか、住民がお互いに支え合い、できることは自分たちでやるという行政に頼らない住民による自治を目指している。